

2 学齢・青年期（6～19歳）

むし歯のしくみ

食べ物の残りかすや飲み物に含まれる糖分を栄養にして、口の中のむし歯菌が増殖し、むし歯菌のかたまりである歯垢（プラーク）が作り出されます。この歯垢の中の細菌が「酸」を作り出し、歯を溶かします（脱灰）。

だらだら食べなどにより、歯の修復（再石灰化）が追いつかなくなることでむし歯になります。

【対処・予防法】

- ・甘味菓子・甘味飲料のだらだら食べ・飲みを控える
- ・ていねいな歯みがき・歯間清掃用具を使用し、歯垢を落とす
- ・歯を強くする効果のあるフッ化物の配合された歯みがき剤を活用する
- ・定期的な歯科健診のほか、歯石除去などの清掃を受ける



朝食を毎日食べましょう

朝食を食べないと・・・

- ① 睡眠によって下がった体温が上がりにくく、からだがスムーズに動きません。
- ② 脳は寝ている間もエネルギーを消費するため、朝はエネルギー不足。仕事や勉強がはかどりません。
- ③ 食事の回数が少なくなることにより、中性脂肪やコレステロールが高まり、肥満や脂質異常症等の生活習慣病の発症につながります。

分野	目標
② 正しい生活習慣の実践	□ 生活習慣病とその原因を知る □ 適正体重を知る □ むし歯や歯肉炎の原因と予防方法を知る
	□ 栄養・食生活
	□ 朝食を毎日食べる □ 食事バランス（主食・主菜・副菜）をととのえる □ うす味の習慣をつける □ 好きな野菜を増やす □ 今より一皿野菜料理を増やす □ 適正体重を維持するため、週1回は体重を量る
	□ 全身を使った遊びをする
	□ 運動
	□ 休養・睡眠
	□ お酒を飲まない
	□ 喫煙
	□ たばこを吸わない □ たばこの煙に近づかない
	□ 飲酒
③ 自らの健康管理	□ 週1回は歯や歯肉を鏡で観察する □ 1日1回はていねいに歯をみがく □ ゆっくり、よくかんで食べる
	□ 齧歎
	□ 様々な体験を通して、人の関わり方を身につける □ ストレス耐性を身につける □ つらいときに誰かに助けを求めることができる
	□ こころ
	□ 定期的な健康チェック
	□ 病気と事故の予防
	□ 早期発見・早期治療
	□ 定期的に健診・歯科健診をうける
	□ 予防接種をうける □ 交通ルールを守る
	□ 地域とのつながり
④ 健康を支える環境	□ かかりつけ医・歯科医・薬局をもつ □ 必要な治療を継続する
	□ 近所の人とあいさつをする □ 地域のグループ活動に参加する □ 地域の安全に関心を持つ
	□ 健康づくり活動
	□ 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わる

学齢・青年期



- 食事は家族や友人と一緒に食べる
- 食品の表示を活用する
- 食事の手伝いや料理を通して、食事の自己管理ができる
- 食に対する知識、食文化を学ぶ

成人期



- 共食の機会を増やす
- 食品の表示を活用する
- 食事バランスについて知識を持ち、自分や家族の食事の管理ができる
- 食に対する知識、食文化を習得し、伝える

シニア期



- 共食の機会を増やす
- 食品の表示を活用する
- 自分に適した食事内容を知り、食生活に取り入れる
- 食に関する知恵や知識、食文化を伝える

乳幼児期（その保護者）



- 食事は家族と一緒に食べる
- 食品の表示を活用する
- 食事の手伝いや料理を通して食への関心を高める
- 食事のあいさつ、マナーを身につける

次世代へ